



語り合って考えを深める千秀の子

校長 平島幸江

正門にある郵便受けの近くにある小さなアンズの木に淡いピンクの花が咲きました。瞬く間に3月がやってきました。三寒四温の季節で、確かに寒い日と暖かい日が交互に訪れていますが、今年は寒暖差が大きく、おまけに花粉まで飛び始めて体調を整えることがとても難儀な日々です。思いやり合って声を掛け合ってこの季節をしのぎつつ、季節の変化を楽しんで過ごしていきたいです。

中面の「各学年の取り組み紹介」にも記載しておりますが、6年生と一緒に給食を食べる取り組みをしています。一緒に話しながら会食し、最後に一人ずつ「中学校生活への期待や目標にしたいこと」を話してもらっています。話題は、部活動のこと仲間づくりのこと、勉強のこと、放課後の過ごし方のことなど様々です。中には「時間の使い方をうまくなりたい」という子もいて、今どきの子どもたちにも「タイパ(タイムパフォーマンス)重視」の考え方がでてきているのかな、と感じることもありました。いずれにしても会食が大変楽しく6年生とのよい思い出づくりにもつながっています。卒業証書を手渡すときにも、具体的な会話の場面が思い出され、心を込めて渡すことができそうです。

さて、この6年生との取り組みと同時に、5年生に授業を行いました。授業は「5年生の話を聞かせてください」、テーマは「6年生に対して抱いている感謝の気持ち ○○さんへ」です。子どもたちと授業をすることが楽しみでしかたない私ですので、嬉しい時間でした。身近なちょっといい話をたくさん聞き、6年生との会食にも生かしたかったので、敢えて名前をあげてエピソードを語り合う時間を設定しました。はじめ、「すぐに考えつかない」「どう話せばいいかわからない」と不安そうな子もいましたが、グループごとに語り合いを重ねるごとに理解をして語り合ったりワークシートにエピソードを記入したりしていました。特にエピソードの中で多かった内容は、スマイル活動(たてわり活動)でのこと、委員会活動でのこと、クラブ活動でのことでしたが、登下校時のことや放課後や休日に地域の活動で過ごしたことを話している子もいて、「校内では知ることがないお宝エピソードを聞くことができたな」とうれしく思いました。

授業後の5年生の授業感想には「みんなの感謝している6年生がいるということがわかった」「友だちの意見を聞けたし自分の意見をたくさん話して楽しくできた」「6年生にはいろいろなところでお世話になった、支えてくれたことがわかった」「ずっと楽しい話ばかりでうれしかった」「みんなが6年生にどれくらい感謝していることがわかった」「6年生はすごいと思った」「6年生のいいところがたくさんあって、6年生みたいなすてきな学年になれるようにがんばろうと思った」「グループで語り合ったときにおんなじことを書いている人がいて6年生はすごいと思った」「みんなと語り合いをしたら5年生の仲が少し良くなった」「みんなの6年生のいいところを語り合えてよかった」などと記入されていました。(一部のみの紹介です)授業を通して、人と話すことや語り合うことの良さを感じとり、「こんな6年生になりたい」という具体的なイメージをもつことができたのではないかと思います。私自身も、5年生に授業をさせてもらったおかげで、今まで知る機会がなかった6年生の追加情報を知ることができ、本当にいい時間でした。この後は、5年生から了承をもらった上で、5年生の気持ちを6年生に伝え、職員室でも情報共有して6年生のすばらしさに浸っていきたいと思います。

年度末となり、今年度の教育活動の振り返りを教職員一同で行っているところです。来年度の行事予定表とともに4月からの登校時間の調整についてお知らせをいたしました。内容をご覧いただきご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

保護者や地域・関係機関の皆様、ここまで千秀小学校の教育活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。おかげさまで、児童たちは日々の学校生活を楽しんでいます。今後とも変わらぬご理解ご協力をいただけますようお願いいたします。